

# 長野県 公運協だより

第 143 号

発行所  
長野県公民館運営協議会  
長野市大字南長野字幅下  
692-2  
県庁東庁舎内  
電話 (026)232-0111  
(内線 4849)

## この時だからこそ できることを

長野県公民館運営協議会

会長 塩澤 哲夫

令和二年  
度の会長を  
務めさせて  
いただき  
ありがとうございます。  
よろしくお願いいたします。



願っています。

飯田市の公民館は、二十地域のそれぞれに地区公民館があり、地域の課題に沿って活動しています。市全体の事業として行うものは、成人式、市公民館大会などがあり、地域の実情に合わせて工夫して運営しています。

飯田下伊那では、古くから「自分(自分たち)のことは、自分(自分たち)でやる」という気風があり、公民館での活動に積極的に取り組んでもらえることが当

り前のように自然に行われているように感じます。

ここ数年のコミュニティスクールの取り組みでも、「学校を手伝うことができないか」と以前から考えられていましたので、何の違和感もなく「協働」へ移行できたように思っています。「支援してやる」「学校へ頼めば何とかしてくれる」「学校の敷居は高い」との意識はまだあります。が、「地域の子どもは、地域で育てる」という想いは、年々膨らんできているように感じています。

今年には、コロナウイルス感染症の影響で、様々な事業を中止・延期にせざるを得ない状況になっています。でも、地域の皆さんのために「できることをやろう」「で

きるための工夫をしよう」と前を向いて努めることがとても大事であり必要だと感じています。

県公民館運営協議会は、各地の状況や特性を踏まえて、情報交換し合い連絡を取り合うこと、必要な研修を行い力量を高め深めることに、を大事にしています。県内

## 退任ごあいさつ

長野県公民館運営協議会

前会長 滝澤 澄夫



令和元年度会長を務めさせていただきます。ただきました。県内各公民館の関係者の皆様に心より御礼を申し上げます。

人口減少と平均寿命の延伸による超少子高齢型社会の到来と新型コロナウイルス感染症の影響による公民館活動の停滞により、地域では共同体意識の希薄化が進んでおります。

こうした時代において公民館は地域住民が気軽に集い、地域課題

各地の公民館に関わる多くの皆さんの役に立つ存在でありたいと願っています。

今年度の公民館大会は、諏訪公運協の皆さんに多くのご苦勞を願って、この状況下でできる新しい大会の企画を考えていただいております。よろしくお願いいたします。

に対応するための取組みや、地域社会における人間力の向上などのコミュニティの拠点となることが期待されており「学びを通して住民自身が地域をつくる」との信念のもとに公民館関係者や関係機関と住民とが連携・協働して地域づくりを展開しております。

住民の方々がそれぞれの地域で生きがいをもって暮らし続けられる地域づくりを探るのが公民館の役割と考えます。

長野県公民館運営協議会は、公民館の充実発展に役立つ全県的な情報を、積極的に収集・提供し、公民館がいつでもどんな時でも地

域の方々にとって必要不可欠の存在となるよう活動しております。これからも引き続き長野県公民館運営協議会の発展のため尽力してまいりたいと存じますのでよろしくお願いたします。

レコー  
ム

「長野県らしい  
公民館とは？」<sup>⑦⑩</sup>

「令和二年七月豪雨」  
に寄せて

天龍村公民館  
館長 鎌倉貞男

七月九日の地方紙「南信州」新聞は、トップ記事で飯田下伊那初の「大雨特別警戒警報」について報じた。同地は梅雨前線の影響で八日早朝から激しい雨が降り、気象庁は飯田市と南部四町村に五段階の警戒レベルのうち最も高い同報を初めて発令したのである。こ



れを受けて各市町村では対策本部を設置して種々対応した。

これより先、この大雨は九州を始め各地に大きな被害をもたらした。線状降水帯が長く停滞したことで、球磨川・筑後川・飛騨川等多くの河川が氾濫し、浸水被害や土砂災害が多発した。

これを見て、私はかつて伊那谷を襲った「三六災害」を思い出した。一九六一（昭和三十六）年六月二十二日から降り続いた梅雨前線集中豪雨は、二十七日になって各河川を氾濫させ、飯田下伊那地方に大災害をもたらした。天龍川兩岸の広範囲で家屋や田畑が流失し、道路や鉄道が不通となり、死者・行方不明者百三十九名を出した。

とりわけ天龍川べりの飯田市川路地区は村の大部分が水没し、壊滅的打撃を受けた。ここにそうした水防苦難の歴史を継承する次のような記念碑が建っている。

時により過ぐれば民の嘆きなり  
八大龍王雨やめたまえ

『金槐和歌集』所載のこの歌は、鎌倉三代将軍源実朝が水難で悲嘆に暮れる農民の姿を見て、水を司る八大龍王に祈願した和歌とされる。未曾有の大水害を経験した川

路の人々が、その願いと祈りをこの歌に託し建立したのである。

日々報じられる被災地の情報に接し、その地の人々がどうかご無事で早く復旧復興されんことをと祈るばかりである。

県教委から

新型コロナウイルス感染防止に  
対応した事業・活動の進め方

全国的に、年度当初予定していた会議や事業が軒並み、延期、書面開催、中止といった状況が続きました。六月になって長野県ロードマップが出され、イベント再開に向けて参加範囲を広げていく方向が示されました。

文化財・生涯学習課として長野県公民館運営協議会と連携し、五月、六月に県内十九市へ公民館会館状況の調査をお願いしました。

お忙しい中にご回答いただきました十九市には感謝いたします。五月時点では、自主事業や貸館業務を中止せざるを得ない公民館が大半の中、YouTubeによるオンライン講座やWEB講座開催などこれからの公民活動の在り方を工夫

する市がありました。この内容は長野県公民館運営協議会HPに掲載されています。

本課としても、今後の研修会や会議のあり方を探るべく、長野県生涯学習推進センターなどと連携した、WEB会議や研修会の持ち方についての実習に参加しました。そして、本課で開催する科  
学振興会審査会をWEB会議で行いました。

社会教育活動は「人の集い」や「人の繋がりを」を基本としてきました。そのことによりはありませんが、コロナによって「集い方」や「繋がり方」を工夫する必要に迫られています。そのことは、新たな参加者を発掘するチャンスになるかもしれません。今まで以上に、社会教育関係者の横の繋がりを強め、皆さんと新しい方向を探っていききたいと思えます。

（文化財・生涯学習課  
主任指導主事 後藤 卓己）

このたびの令和二年七月豪雨により被災されました皆様にご心よりお見舞いを申し上げますとともに、早期の復旧復興をお祈り申し上げます。

長野県公民館運営協議会役職員一同



# いっしょに生きる

## ここに生きる

長野市柳原交流センター

所長 小笠原幹夫

柳原支所や東部文化ホールなどと併設している当施設は、昨年度より公民館から交流センターへと名称が変わった。駐車場も広く、柳原以外も含め多くの方が利用している。

今年の十月十三日、状況は一変した。千曲川の堤防が決壊した長沼の南に隣接する柳原は、一部地域まで浸水した。本施設は浸水を免れたが、浸水想定域のため避難所にされていない。そのため、急遽、ここは災害対応の前線となった。最初は救助活動。



消防署・県警などの救助指揮所や長沼地区の対策本部、消防団や自衛隊の活動拠点となり、県内外の車両で駐車場も埋まった。

その後、救助から復旧・生活支援へ。自衛隊や長沼の対策本部のほか、新たに外に北部ボランティアセンターのテントが建ち連日多くの人たちが活動に向かった。市の災害対応窓口、ホールはNPOによる子供の居場所等にもなった。様々な団体の動きは一日ごと変化し、それぞれの要請に市と相談し対応した。駐車場や部屋の配分、そしてトイレ問題等も。

日常活動が再開されたところに、今度はコロナの問題に対応中です。

### 楽しく学ぶ 「いきいき学級」活動

御代田町公民館

館長 清水成信

いつでも誰でも集える自由な学習の場、文化創造の拠点である公民館として、当館では、陶芸・俳句会などの公民館グループ、青少年合唱団つばさ・こども自然探検隊など青少年健全育成事業など活発に活動しています。

今回は、

その中で

「いきいき学級委

員会」活

動の一部

を紹介し

ます。

人が人

としてい

きいきと、

暮らしに張り潤いをもって自然

や歴史・文化を慈しみ、豊かで楽

しい生活を送っていただくことを

目的に、時宜にあった各種講座や

現地へ赴き歴史や文化を一泊二日

で学ぶ歴史の旅、現代の流行りや

問題から関連付けられた過去を学

ぶ歴史講座などを実施しています。

それらの事業は、一人でも多くの

皆さんに参加いただけるよう、ワ

クワクする話題性のある計画にな

るよう意識するあまり、頭を抱え

ることもしばしば…。

昨年度の活動としては、新元号

「令和」の出版元になった万葉集

を前記の二つの事業で学びました。

一つ目は、万葉集の中で最も詠

まれた歌が多い奈良県にて「明日香村を巡る」をテーマに実施した



歴史の旅です。飛鳥時代の趣が多く残る明日香村では、奈良県万葉文化館やキトラ古墳、高松塚壁画館など歴史と文化の見聞を広める旅を実施しました、参加者の感想はとても楽しかった・万葉集を紐解いてみようなど大変好評でした。

二つ目は、「令和」が記されている梅花歌三十二首序とその歌会を開いた大伴旅人の生涯を学ぶ歴史講座です。講師に國學院大學文学部教授 土佐秀里先生をお招きすると、予想を超える

受講者で歴史や知識を深める学びの場となりました。



内容により参加希望者も多く、申し込みの電話が殺到しあっという間に定員に達し対応に追われることも…うれしい悲鳴です。今度はいつ?どんな内容?何処に行くの?など、参加して良かった、また来たいという声が一番うれしく、やりがいのある事業と言えるまさに公民館冥利に尽きる活動となっています。

# ブロックニュース

## 中信

### 小学校と地区の

### 合同運動会

木曾町三岳公民館

主事 斎藤 岳久

木曾町三岳地区には全校児童が三十人台と小規模な小学校が1校あります。人数が少ない分先生方の目が行き届きとてもいい雰囲気の小学校です。

また、公民館では長年三岳地区の六分館対抗で運動会を行っていましたが、近年は人口減少や生活スタイルが変わり運動会に出てくる人が減ってきていました。そこで小学校と分館対抗の運動会を平成二十六年から合同で行うこととなりました。

住民が多く、気合の入った分館、高齢化が進み人集めに苦勞



する分館など、それぞれありますが、小学生は多くの地元の方々から見守られ、声援をうけて張り切り、大人は小学生から元気をもらって張り切る。



小学生と大人お互い刺激されながら運動会を行っています。笑顔になり、盛り上がり、地域の活力に少しはなっているとと思っています。

また、三岳中学校は木曾福島中学と統合し木曾町中学校となり、それまでは小学校の運動会に中学生も参加していましたが、部活動などでほとんど出てくる生徒はいなくなってしまうました。しかし、昨年は中学の女子バレー部の皆さんが参加し、地元の人や小学生も大変盛り上がり、喜びました。三岳の出身ではない生徒が多くいましたが、生徒も大変楽しそうに参加し手伝ってくれました。噴火や台風の影響で実施できない年もありましたが、今年度は自然災害ではなく、感染

### 令和2年度 長野県公民館運営協議会役員

住 所	〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692の2 県庁東庁舎3階		
電 話 番 号	026-232-0111 (内線4849)		
F A X 番 号	026-233-1023		
メールアドレス	kounkyo@mx1.avis.ne.jp		
ホームページ	https://naganoken-kounkyo.com/		
役 職 名	氏 名	所 属	
顧 問	滝澤 澄夫	松本市安原地区公民館長	
会 長	塩澤 哲夫	飯田市公民館長	
副 会 長	柏澤 由紀一	松本市芳川公民館長	
	柳澤 礼子	佐久市中央公民館長	
	平林 晃	大町市大町公民館長	
	石川 雅之	中野市中央公民館長	
	岩下 彰	長野市立中条公民館長	
理 事	館長会幹事長	山田 賢一	安曇野市堀金公民館長
	館長会副幹事長	細江 孝明	伊那市伊那公民館長
	館長会幹事	清水 成信	御代田町公民館長
	館長会幹事	山岸 一延	須坂市生涯学習推進課長
	主事会幹事長	片岡 博昭	飯田市公民館主事
	主事会副幹事長	塚原 貴裕	松本市中央公民館主事
	主事会常任幹事	佐々木 学	佐久穂町公民館主幹
	主事会常任幹事	斎藤 岳久	木曾町三岳公民館主事
	主事会常任幹事	半田 雅彦	下諏訪町公民館主事
	主事会常任幹事	山田 伸晃	長野市立浅川公民館係長
監 事	松本 文一	小諸市公民館長	
	中島 和貴	大町市社公民館主事	
事 務 局	木下 陽介	事務局長	
	竹内美津江	事務局員	

症の影響が出てきました。運動会は人々が触れ合いながら近い距離で行う競技や、大声で応援、近所の人と一緒に食べるお弁当が醍醐味だと思うのですが、それらが『新しい生活様式』の中ではよくないこととなってしまいました。今後の運営は現在検討中ですが、小さな地区の楽しい運動会を、地区が一体となり盛り上がるような運動会が開催できるよう学校と地域が一体となって考えていきたいと思えます。

令和二年度の長野県公民館運営協議会定例総会開催 令和二年度の長野県公民館運営協議会定例総会は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、書面決議による総会を実施しました。その結果、令和二年度の活動基  
本方針、事業計画、収支予算等が可決、承認され、新会長に飯田市公民館の塩澤哲夫館長が選出されました。本年度の役員は左表のとおりです。  
なお、第二回役員会で、前会長の滝澤澄夫氏が顧問に就任することが承認されました。

### 長野県公民館運営協議会定例総会開催